

評価シート例（年度評価）

名古屋市総合社会福祉会館の管理運営状況

1 基本情報 <所管局:健康福祉局>

指定管理者	社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会		
主な業務内容	総合社会福祉会館の管理運営、会議室等の貸出業務		
評価対象期間	令和5年4月 ～令和6年3月	指定管理期間	令和5年4月 ～令和10年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 基本事項	(1) 平等利用	市民の利用にあたって不公平が生じていないか。	○	
	(2) 開館の実績	利用日・利用時間が遵守されているか。	○	
	(3) 情報管理	情報の管理・保護が適切になされているか。	○	
	(4) 職員体制	職員の配置、勤務実績、労働環境等は適切か。	○	
	(5) 法令等の遵守	法令、協定書等を遵守しているか。	○	
	(6) 事故・災害等への対策・対応	事故・災害等発生時の対策・対応が行われているか。	○	
2 維持管理	(1) 建物・設備の保守点検	建物・設備が適切に管理されているか。	○	
	(2) 警備業務	安全で安心感のある環境を確保しているか。	○	
	(3) 清掃業務	利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。	○	
	(4) 備品の管理	備品が適切に管理されているか。	○	
3 サービス	(1) 利用実績	当初の目標通りの利用実績を挙げているか。	○	
	(2) 事業実施状況	計画通り事業が実施されているか。	○	
	(3) 広報・PRの実施	利用促進のための取組みを実施しているか。	○	
	(4) 接客態度	接客態度、名札、服装等は適切か。	○	
	(5) 苦情・要望の把握・対応	利用者の意見、苦情を受けて、迅速に対応できているか。	○	
	(6) 利用者満足度	利用者の満足度を把握し、必要に応じて対応しているか。	○	
4 経費等	(1) 執行状況	指定管理料の執行等は適正になされているか。	○	
	(2) 収支状況	当初の予定通りの収支状況になっているか。	○	
	(3) 再委託	再委託の方法は適正か。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
SNSによる情報発信や、利用申し込みの利便性と公平性の向上に努めるなど、公平で安定的な運営が図られており、総じて適切に運営管理されている。会議室の利用人数、利用実績（稼働率）とも前年度より上昇しており、引き続き適切な運営管理に努められたい。

施設の現状

名古屋市総合社会福祉会館

施設の現状	施設概要							
	総合社会福祉会館は、社会福祉活動の振興と市民の福祉向上を図ることを目的として設置された施設です。市民に対し、会議室(大会議室、中会議室、小会議室、研修室、和室)の貸出を行っています。							
	市の収支状況(千円) (5年度決算(見込)額)							
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金
	29,306	16,667	45,973	379	968	44,626	45,973	—
	特記事項							
管理運営指標の状況	取組状況							
	指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	利用者数		人	25,120	31,265	43,666	49,925	
	部屋稼働率		%	67.7	71.4	78.8	80.7	
	満足度調査 (満足＋やや満足)		%	85.4	93.2	85.8	86.6	
	特記事項							
	会議室の利用について、利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響による会議室利用人数の制限等の対応を、令和 5年度より解除したことに伴い、利用者数・部屋稼働率ともに前年度の実績を上回りました。 利用者満足度調査において、会館の利用全般に関して「満足」「やや満足」と回答した人の割合が増加しており、また同調査において「あまり満足していない」と回答した人の割合は2.2パーセントから1.2パーセントに低下、「不満」と回答した人は昨年度に引き続き0パーセントとなっています。							

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載